



高柳電設工業

スペースパーク
SPACE PARK

(郡山市ふれあい科学館)

宇宙劇場 ドーム映像番組

ふくしまデスティネーションキャンペーン 特別企画

ゴッホが描いた星空

ゴッホは、黄色い大きな太陽を描きました。

ゴッホは、色とりどりの星を描きました。

「夜は、昼よりもずっと色彩豊かなのだよ」

ゴッホは、果てしなく広がる空に何を想い、何を話したのでしょうか。

「星空を見ていると、わたしはいつも夢に誘われる。

汽車に乗って、いろんな町に行けるなら、
何かに乗って、どこかの星にも行けるはずだ」

ゴッホの心を探る旅に、あなたをご案内いたします。



2026
2/21 土 ▶ **5/10** 日

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、4/21(火) ※3/30(月)は開館

高柳電設工業スペースパーク(郡山市ふれあい科学館)

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 ビッグアイ20~24階
TEL 024-936-0201

番組開始時刻(約45分番組)

平日 (3/24 ~ 4/3を除く)	17:00 ~
土曜・日曜・祝日 3/24 ~ 4/3	14:20 ~

宇宙劇場利用料金

一般(65歳未満)	400円
高校生・大学生等	300円
小学生・中学生	200円
幼児・65歳以上	100円

SNSで
情報配信中



facebook



Instagram



YouTube



LINE



科学館
ウェブ
サイト



科学館
LINE

「ゴッホが描いた星空」がプラネタリウムのキャンバスに拡がります

ゴッホが描いた星空

フィンセント・ファン・ゴッホ

Vincent Van Gogh (1853 ~ 1890)

独特の色彩、激しいタッチで“炎の画家”とも称されるオランダの巨匠ゴッホ。その強烈な個性で心のままに描いていた印象がありますが、彼が残した書簡を読み解いていくと、緻密に構図や色使いを計算していたことがわかります。その彼が、夜の光が放つ豊かな色彩に魅せられ、星空の絵画をいくつか残しているのです。このことに関しては多くを語っていない彼ですが、『ゴッホが描いた星空』で少しでもゴッホの心に触れ、彼が絵画に託した想いを感じていただければ幸いです。

『自画像』としては
最後期の作品とされる
1889年9月頃制作
オルセー美術館蔵



『星月夜』
ニューヨーク近代美術館蔵



『星月夜と糸杉のある道』
(夜のプロヴァンスの田舎道)
クレラー=ミュラー美術館蔵



『夜のカフェテラス』
クレラー=ミュラー美術館蔵



さまざまな宇宙体験ができる科学館

宇宙劇場ではこのほかにも多彩なプラネタリウム番組の放映を行っているほか、宇宙をテーマとした展示ゾーンでは、毎日実演メニューを開催しています。イベントも盛りだくさん！子どもから大人まで、宇宙との感動的な出会いが待っています。

※詳しくはウェブサイトをご覧ください



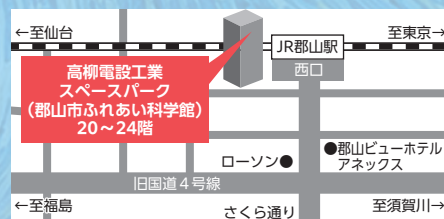
高柳電設工業

スペースパーク
SPACE PARK

(郡山市ふれあい科学館)



科学館
ウェブサイト



交通案内

JR郡山駅西口から徒歩約1分

<東北自動車道>

郡山1Cから約20分(約7.0km)

郡山中央スマート1Cから約25分(約7.7km)

郡山南1Cから約25分(約9.4km)

<磐越自動車道>

郡山東1Cから約20分(約7.7km)

※当館専用駐車場はございません。



ミックス
紙1責任ある森林
管理を受けています
FSC® C010089

紙ヘリサイクル可